



Press Release

後輪駆動ランボルギーニ・ウラカン LP 580-2: 運転する楽しさの本質を伝えるモデル

Automobili Lamborghini S.p.A.

- フロントとリアの動的設計を一新
- 後輪駆動車ならではの運転の楽しさを重視した設計
- パワーマネジメント機能の再調整および重量削減を図り、魅力的なドライビング・エクスペリエンスを提供
- 0-100km/h 加速 3.4 秒、トップスピード 320 km/h

Press Office - Northern Europe
Gerald Kahlke
Phone number +39 051 6817711
gerald.kahlke@lamborghini.com

Press Office – Japan, Korea and Oceania
Rika Iimure
Phone number +81-(0)3-5475-6626
rika.iimure@lamborghini.com

Press Office – APAC
Julie Taieb-Doutriaux
Phone number + 86 139 1124 4757
julie.taieb@lamborghini.com

【2015 年 11 月 17 日 サンタアガタ・ボロネーゼ】

アウトモビリ・ランボルギーニは、ウラカン・クーペの二輪駆動モデルとなる「ランボルギーニ・ウラカン LP 580-2」"Lamborghini Huracán LP 580-2" (以下、ウラカン LP 580-2) を発表いたしました。後輪駆動車として特別設計されたウラカン LP 580-2 は、ダイナミックさ溢れる新たなルックスとランボルギーニのパッケージを融合させることで、より優れたドライビングエモーションをお届けいたします。

「ランボルギーニ・ウラカン LP 580-2 は、ピュアかつ先見性および技術力を兼ね備えたランボルギーニ・モデルの伝統を受け継いでいます。後輪駆動モデルが加わったことで、ウラカンモデルのファミリーがさらに完璧なものとなりました。特に、より強烈なドライビング・エクスペリエンスを望まれる方々や、現在は他ブランドの後輪駆動車をお持ちで、いずれランボルギーニを運転したいとお考えの方々にも魅力を感じていただけるでしょう。トップレベルの技術を駆使して改良した史上最もピュアなランボルギーニ車です。本モデルは、こだわりをお持ちのドライバーのために開発された車です。皆様に運転する楽しみを思う存分に味わっていただきたいと思います。」とアウトモビリ・ランボルギーニ社代表兼 CEO のステファン・ヴァインケルマンは語ります。

ウラカン LP 580-2 の設計および調整にあたっては、ドライビング・エクスペリエンスを重視いたしました。自然吸気 V 型 10 気筒 5.2 リッターエンジン から後輪車軸へと伝えられる出力は、426kW / 580hp。それでいて、乾燥重量はわずか 1,389kg に過ぎず、四輪駆動バージョンより 33kg も軽量となっています。

また、前後重量配分を 40 対 60 とすることで、フロントアクスルの慣性力を削減しました。より硬度を高めたサスペンション、高精度なターンを可能にする新ステアリング、さらには再調整を施した安定制御およびトラクション制御などから成る新パワーマネジメント設定を採用し、ドライバーが路面をさらにダイレクトに感じながら走れるよう改良しました。ランボルギーニの選択式ドライビング・モード「ストラダ」、「スポルト」、「コルサ」は、オーバーステアリング時の特性を表現するもので、後輪駆動ならではの動きをより一層実感することができます。



ウラカン LP 580-2 は、スポーティな楽しさに溢れる二輪駆動モデル。四輪駆動モデル「ウラカン LP 610-4」の特徴である車両全体に施された高い技術、そしてドライビング・エクスペリエンスを受け継いでいます。さらに、ウラカン LP 610-4 スパイダーのように魅力的なライフスタイルを提案しています。

デザイン

ウラカン LP 580-2 は、同四輪駆動バージョンとは一線を画した存在です。新たなデザインに生まれ変わったフロントおよびリアが、フレッシュで強烈な主張を放つルックスを強調するとともに、航空機を思わせるスタイリングを引き立てています。

ウラカン LP 580-2 の各デザインディテールには、機能美が見事に表現されています。これは、チェントロ・ステーレのデザイナーとランボルギーニの空力学専門家たちが緊密に連携を図って設計に当たった成果です。新設計の巨大なフロントエアインテークは、冷却用空気および向かい風を取り入れることで、フロントアクスルへの下向きの圧力を増加させます。一方、リアのスポイラーリップは、ボディー底面のライジングディフューザーと連動し、車体リア部分まわりの空気の流れを改善します。したがって、ウラカンは可動式リアスポイラーを必要としません。

ウラカン LP 580-2 が履くのは、車の動的表現を際立たせるサイズ違い(フロント/リア)の新 19 インチ KARI リムタイヤ。後輪駆動車専用開発されたピレリ P Zero タイヤは、スチール製のブレーキとアルミニウム製のブレーキディスクキャリアに、重量削減および冷却機能を改善するべく特別に成形されたものを採用しています。

パフォーマンス向上を狙い再設計した後輪駆動システム

ウラカンの車体中心部には自然吸気 V 型 10 気筒エンジンを搭載しています。このエンジンを再設計して最高出力 426kW / 580HP および最大トルク 540Nm を実現しました。しかも、最大トルク 540Nm は 1,000RPM の時点で 75%を発生します。

ウラカン LP 580-2 は、その他のウラカンモデルと同じく、気筒休止エンジンを標準搭載し、エンジン性能のさらなる向上に成功しました。エンジンをフル稼働させる必要のない時にシリンダーバンク 1 台のスイッチを切ると、10 気筒の内 5 気筒を一時的に休止。その後アクセルを踏むと、自動で瞬時に 10 気筒モードへと切り替わります。この一連の切り替えはドライバーが気づかないほどスムーズに進行します。同機能により、燃費を 11.9l/100km(複合燃料消費)まで節約するとともに、CO2 排出量を 278g/km にまで削減することが可能となりました。

ウラカン LP 580-2 の乾燥重量は 1,389 kg。ウラカン LP 610-4 クーペと比較して 33kg もの重量削減を達成しました。パワーウェイトレシオもわずか 2.4kg/hp です。アルミニウムとカーボンファイバーを使用したハイブリッドシャーシが重量軽減に貢献しております。

ウラカン LP 580-2 のねじり剛性は、先行モデルのガヤルド LP 550-2 と比べ 50%も増加しました。これは、ダブルウィッシュボーン式サスペンションのスプリングとアンチロールバーの構成を改良した成果です。

「ランボルギーニ・ドップィア・フリッツィオーネ(LDF)」7 速デュアルクラッチ・ギアボックスは、停止状態から最大限に加速するための発信制御機能を備え、瞬時のギアシフトが可能となりました。ステアリングコンセプトは電動パワーステアリングを基本としており、ランボルギーニ・ダ



イナミック・ステアリング(LDS)をオプションで搭載することもできます。LDS なら速度やダイナミック・モード・セレクターの設定によって作動のみならずステアリングレシオも変化するので、どのような運転状況でも車が俊敏に反応します。それゆえ、格段に優れた操作性が実現しました。新しい後輪操舵システムも加わり、車の安定性向上も実感できます。

後輪駆動式のウラカン LP 580-2 モデルには、ランボルギーニ・ピアッツァフォルマ・イネルツィアーレ(LPI)を搭載しました。LPI は車体の重心部分に位置するセンサーシステムで、車体動作を測定します。LPI による測定値は、マグネト・レオロジカル・サスペンション(MRS、オプション装備)およびステアリング安定制御システム(ESC)へとリアルタイムで送られます。ESC は測定値などの運転条件に応じた制御を行いながらも、設定したドライビング・モードに対応する後輪駆動の動作となるよう必要に応じて介入を行います。

ドライビングエモーション - 最大限の楽しさを

ランボルギーニ・ウラカン LP 580-2 のすべての要素は、運転する楽しさを追求して設計されており、ドライバーが車からの反応を体感・理解しながら、公道やトラックとの密着感やコミュニケーションを楽しむことを可能にします。

ステアリングホイール上の ANIMA(イタリア語で「魂」を意味する)スイッチを使用して、ドライビング・モードを選択します。後輪駆動モデルのドライビング・スピリットを実感できるよう補正を加えました。普段の運転に合うのは「ストラダ」モード。トラクション志向でアンダーステアリング気味の走行となります。「スポルト」モードは若干オーバーステアリングの傾向があり、スポーティでエモーションな走行を楽しむのに最適です。「コルサ」は、レーストラックでの最大パフォーマンスを約束するモード。ニュートラルなステアリング特性をいかんなく発揮します。

スペック、歴史および価格について

ウラカン LP 580-2 の外装および内装に使用される色およびトリムは、ウラカン用にご用意したフルレンジよりお選びいただけます。さらに、ランボルギーニのカスタマイズ・プログラム「アド・ペルソナム」をご利用の場合、お選びいただける外装色および内装色のオプションは無限です。

ウラカン LP 580-2 は、高解像度の 12.3 インチ TFT インストルメント・パネルを採用した最新のランボルギーニ・インフォテインメント・システム II を搭載しています。

ランボルギーニが過去に送り出した後輪駆動モデルのひとつが、先行モデルのガヤルド LP 550-2 です。また、「fun-to-drive」コンセプトを完璧に体現したミウラ、カウンタック、ディアブロの後輪駆動バージョンもございます。後輪駆動のウラカン LP 620-2 スーパートロフェオは、2014 年に発表された後、ヨーロッパ、アジアおよびアメリカで開催されたランボルギーニ・グランパン・スーパートロフェオ・シリーズ3大会に出場し、世界中のレーストラックで闘いを繰り広げました。

ウラカン LP 580-2 は、ランボルギーニ正規販売代理店にてお求めいただけます。希望小売価格は、150,000 ユーロ(税別)となっております。なお日本での価格は 22,800,000 円(税別)となります。



■アウトモビリ・ランボルギーニ S.p.A.

1963年に設立されたアウトモビリ・ランボルギーニは、イタリア北東部のサンタアガタ・ボロネーゼに本社を置いています。2014年開催のジュネーブ・モーターショーで世界デビューを果たした「ランボルギーニ・ウラカン LP 610-4」は、アイコン的な名車「ガヤルド」の後継車です。革新的な技術力と目を瞠るようなパフォーマンスで、ラグジュアリー・スーパー・スポーツカーのドライビング体験をあらためて定義するモデルとなっています。「アヴェンタドール LP 700-4 クーペ」、「アヴェンタドール LP 700-4 ロードスター」および「アヴェンタドール LP 750-4 スーパーヴェローチェ」は、V-12 エンジン搭載のラグジュアリー・スーパー・スポーツカーの世界基準となる存在です。世界中に130もの正規ディーラーを有するランボルギーニは、半世紀にわたるその歴史の中で、「350 GT」、「ミウラ」、「エスパーダ」、「カウンタック」、「ディアブロ」、「ムルシエラゴ」から、「レヴェントン」、「セスト・エレメント」「アヴェンタドール J」といった限定シリーズまで、次々と非凡で高級感溢れる名車を世に送り出して来ました。また、2013年にはブランドの50周年を記念して、新たに「ヴェネーノ・クーペ」、「エゴイスタ」および「ヴェネーノ・ロードスター」が発表されています。

■リリースに関するお問い合わせ先

広報窓口： ランボルギーニ・ジャパン PR 事務局（共同ピーアール株式会社内）
担当： 吉田、中里、横山
TEL： 03-3571-5238
FAX： 03-3571-5380
Email： lamborghini-pr@kyodo-pr.co.jp

■ご掲載いただく場合のお客様の問い合わせ先

ランボルギーニ カスタマーセンター TEL: 0120-988-889
アウトモビリ・ランボルギーニ ホームページ <http://www.lamborghini.com/>